

31

戰史資料

重砲兵第一聯隊

收各課庶務部由

一部隊名及部隊履歷概要部隊長名

昭和十六年十月五日以前有部隊者 船中要員重砲兵聯隊 (通稱) 西部隊四一五四部隊

一 大正十五年五月重砲兵第一聯隊 (現第四一五四部隊)

一 三年七月三日 (舊第四一五四部隊)

昭和十六年八月五日特務編隊第八号下令 八月十五日野砲兵第四聯隊補充隊

三 於編隊完結 八月七日大阪港去 八月十三日冲波縣人重砲兵第一聯隊 西表島上陸

同地駐屯 八月十三日軍令 八月十五日日本所定下令 昭和十六年八月三日軍令陸

甲 第一号 依編隊改正下令 十月五日編隊完結 昭和十九年五月十五日軍

令陸 甲 第一号 依編隊改正下令 十月五日編隊完結 昭和十九年五月十五日軍

更 八月十五日冲波縣金山郡島前町南部落務駐屯地 於此 編隊勤務 三月二十五

日 三月二十五日 天 第一号 作戰 於 八月十五日終戰 十月十四日 西表港 去 於 十月十九日

浦留港上陸者自復自定結

自昭和二十一年十月五日

陸軍少佐 山崎 豊吉

至、二十一年六月一日

中佐 入野大二郎

一 指揮練成関係及其変遷ノ概要

昭和二十一年五月五日 西部軍司令部 通居ニ船中要務司令部 官 指揮

五月昭和二十一年二月二日 船中要務司令部 現地ニ在リテ復帰ニ 第三十三軍

司令部 通 轄船之混成第四旅團長 指揮ニ當リ 昭和二十一年七月三日

第十軍方面軍司令部 通 居ニ依リテ復成第四旅團長 指揮

ヲ要ス

一 各地ニ在リテ作戦(戦中)ノ概要及傷損概

持記事項ナシ

一 給養 衛生

給養一般ノ状況

部隊ニ在リテ島嶼内由 給養 内地及台湾ニ補給絶絶ナリ 亦良好

ナリ 之ニ付 補給 亦良好ナリ 現地自給ニ徹底 飢意 亦良好ナリ 依而自給 結果

毛 後地ニ未食 自給不能 僅ニ甘藷ヲ用ニシ 依而自給 結果

亦良好ナリ

給養定量

主要食品ノ定量左ノ如シ

精米 三三〇グラム 甘藷 一升

其他調味品 給養定量ニ付 夫々極小ノ節減ナリ

衛生

部隊 昭和二十一年十月より 西表 及び 石垣島ニ在リテ 衛生 補給 亦良好ナリ 從事 此 間

亦良好ナリ 且ニ 赤痢 指定地 亦良好ナリ 亦良好ナリ 亦良好ナリ

亦良好ナリ 胃腸 疾患 外傷 患者 亦良好ナリ 亦良好ナリ 亦良好ナリ

亦良好ナリ 夏期ニシテ 患者 亦良好ナリ 亦良好ナリ 亦良好ナリ

亦良好ナリ 十月ニシテ 新患 亦良好ナリ 亦良好ナリ 亦良好ナリ

亦良好ナリ 補給 亦良好ナリ 亦良好ナリ 亦良好ナリ 亦良好ナリ

亦良好ナリ 補給 亦良好ナリ 亦良好ナリ 亦良好ナリ 亦良好ナリ

五、状況下

一、終戦時帰還途行初概要

終戦同時軍風化、指揮振作、多々各陣地、分取隊ヲ移廊ニ集  
 結ニ専、精神教育ニ重地自治ニ重長ヲ指向上、昭和二十年十月  
 部隊主力、西表島移駐準備多々、西表島ニ移動同日十九日、西表  
 二、移駐同地附近ニ於テ終戦後、整理並ニ現地自治ニ専ニ  
 同年七月十九日、月夜返還、夕、西表島去来、西表島ニ於テ待機中、  
 同月二十三日、若船ニ乗船二十四日、西表島出港、同日二十七日、南浦留港入港  
 十九日、西表島ニ於テ復自ニ完結ス  
 一、其他部隊終ニ中持異ト認メ、事理  
 持以事理ナシ

戦史資料調査ノ件

昭和二十年十一月三十日 独立歩兵第二九八大隊

支局收容課庶務係御中

首題ノ件左記ノ通リ提出ス

左記

一、部隊名及部隊履歴ノ概要及部隊長名

1. 部隊名 独立混成第四十五旅團独立歩兵第二九八大隊

2. 部隊長名 陸軍少佐 毛木 昭

3. 編成年月日 昭和十九年六月八日

4. 履歴ノ概要 昭和十九年六月八日(於丸亀)

部隊長陸軍中佐森岡信之丞統率、本編成地出發途中  
 鹿見島縣徳ノ島沖合ニ於テ敵ノ雷撃ニヨリ部隊長以下  
 其ノ兵員、約七割ヲ損耗シ補充要員ヲ同年九月十五日現部隊  
 長陸軍少佐毛木昭以下二三名ヲ充足シ南西諸島石垣島

